

# 生徒指導

## の観点から育む自己肯定感

錦林小学校では「安心・安全な学級風土」「学年経営グランドデザインの作成」「児童会活動の充実」の3つの視点で集団づくりを行っています。

### ①安心・安全な学級風土の醸成～「3つの間」と「ホッとタイム(教育相談)」の取組～

・「安心して登校できる学校」を目指し、3つの「間」として「空間」「時間」「仲間」を大切にしています。

空間…整理された空間 時間…活動の開始・終了時刻を守る意識 仲間…つながりを意識した学習・取組

・定期的な教育相談を実施することで、児童の困りや不安を把握し、相談しやすい関係づくりができるよう心がけています。「ホッとタイム」という名前を児童とも共有し、「相談できる機会がある」という安心感につなげています。また、教育相談スタンダードを作成、共有することで、学年・クラス間で進め方に大きな差異がないようにし、学校全体で児童に寄り添うことに努めています。

### ②学年経営グランドデザインの作成

学年の目指す姿を具体的にイメージし、「集団づくり」「自分づくり」「授業づくり」の三本柱で作成します。5月に作成、10月に中間ふり返りと軌道修正、2月にまとめを行います。

### ③児童会活動の充実

本校では児童会本部役員を「計画委員会」とし、たてわり活動の企画・運営や、各委員会の活動内容の取りまとめを行っています。また、校内の課題をピックアップし、全校で取り組む目標を発信する活動も行っています。

たてわり活動では「なかよし遊び」や「動物園ラリー」などの全校行事があり、各学年の目指す姿を意識して活動しています。



個人、学級の安心感が全校の安心感につながる

「安心できる学級・学年」を基盤に、全校行事ではどの学年の児童も自分のめあてに向かって精一杯活動し、「やり切った」という達成感を感じることができます。上級生、特に6年生は主体的に行事に関わることで、「下級生のために」「学校のために」という意識で活動に臨み、下級生はその姿を手本として見ています。全ての行事が、さらなる成長、よりよい学校集団に向かうためのきっかけとなっています。